積み重ね

今週も子ども達の爽やかな笑顔と挨拶でスタートしました。ただし、ワクチン接種の副反応で欠席生徒が 50 名超います。熱が下がり、体調が戻ることを祈ります。

朝の教室を見て回りますと、どの学年もきちんと朝学習、朝読書をしており、落ち着きが感じられます。このように落ち着いた朝を迎えられるのが、太西生の良いところです。

さて、あるクラスでは、担任の先生が毎日、黒板に子ども達に向けたメッセージを書いています。心がこもったメッセージは、子ども達の心に響いていることと思います。

今朝のメッセージに面白いことが書かれていました。

『何かに取り組む時に、ちょっと手を抜く(**0.99**)のか、少し頑張る(**1.01**)のか、もしこれが 1 年間続いたら･･･その差は **7.3 倍**の差になる。』というニュアンスの内容でした。これは、なかなか面白い発想だと思いました。**0.99** も **1.01** も**1**に対して**たった 0.01** しか変わりありません。その差も **0.02** というほんのわずかです。これはとても小さな差です。しかし、仮に 1 年間、このちょっとした差が続くとしたら、その差は大きくなります。改めて、『**積み重ね**』は大事だと気づかされます。

すごく頑張らなくていいので、毎日ちょっとずつ積み重ねることができれば良いと思います。もちろん、それができない日もありますが、『ちょっと頑張るという意識をもつこと』を忘れなければ良いと思います。緊張の糸は、長続きはしませんので、頑張りつづけなくても良いです。イメージとして **0.01** のちょっとした改善や成長、努力といった意識を日々、もつことで、色々な財産が積み重なります。

ちなみに、今日の話の冒頭で、落ち着いた朝について書きました。太宰府西中学校では、朝学習・朝読書の時間が **15 分**あります。**年間約 200 日**、学校があると仮定すると、15 分×200 日＝3000 分となります。これは時間に直すと、**50 時間**です。朝の 15 分も積み重ねると、すごい量になります。いきなり 50 時間分の勉強や読書をしようと思ってもすぐに挫折してしまいそうです。小さな積み重ねだからこそできることです。

太宰府西中学校では、朝の落ち着いた時間をこれからも継続することができるよう、しっかりと指導に励みたいと思います。